

2024 年度 ニチイキッズ穂高保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 4 日（土）～1 月 31 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月7日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念を職員が理解し、現状に応じた保育計画・実践の改善・取り組みを行い子ども自らが、遊びだす力を育んだ。
子どもの発達援助	一人ひとりの成長・発達をとらえ、状況に応じた援助を行った。子どもの興味を捉えその時期の発達に見合った環境を整え、子どもの表現したい気持ちや遊ぶ意欲を引き出すようにした。今後も応答的なかわりを大切に行きたい。
保護者に対する支援	保護者が支援を求めている子育ての問題や解決に対して丁寧に向き合い受け止めを行った。子どもの育ちや様子に合わせた関わりについて一緒に考え、解決に向けたサポートができた。保育参加では、保護者と保育者がともに子どもの育ちを理解することで信頼関係がさらに深まった。
保育を支える組織的基盤	研修に参加し専門性の向上が図られるよう努めた。研修で得た知識は、職員みんなで共有し保育実践につながるよう深めた。発達段階を見極めたり、見通したりする知識を今後もより高めて行きたい。

総評
発達過程や子の個性を大事にしながら一人ひとりと向き合うようにした。子どもの気持ちに寄り添った声掛けやかかわりを意識し環境も整えた。食育活動では、野菜の生育に力を入れた。収穫した大根で切り干し大根を作ったりした。身近にある食材にも触れ、食に対する意識が高まった。子どもにとって環境である保育者同士、何でも語り合い計画的な保育を行った。遊びの様子から自ら遊びだす力が育まれている場面もたくさん見られている。引き続き子どもたちの興味を捉えていけるよう気持ちに寄り添い一人ひとりと丁寧に向き合っていきたい。